

第3回検討会資料

第3回 充電インフラ整備促進に関する検討会

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会の取り組みについて



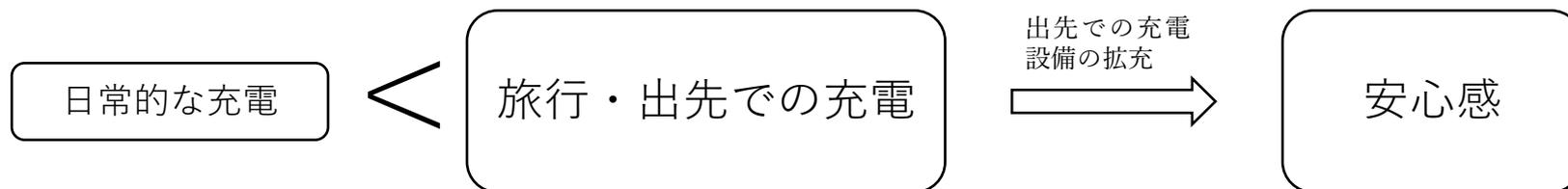
全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

常務理事 笹本 健次

2023年7月13日

なぜ、旅館ホテルにEV充電器設置が必要か？

・EV購入時の不安事項

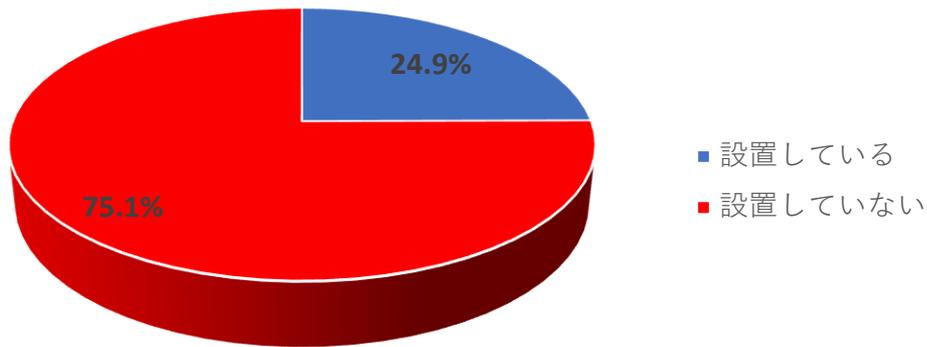


現在、EVの購入を検討するお客様が、一番懸念し不安に感じて、購入を躊躇してしまうのは、日常生活の充電は解決できても、週末などに旅行に出かけたとき、出先（目的地）での充電の保証がない事です。この不安を払拭するためには、全国の宿泊施設にEV充電器を用意し、遠方に旅行に出かけても確実に充電が可能である、という安心感を与えることが必要です。

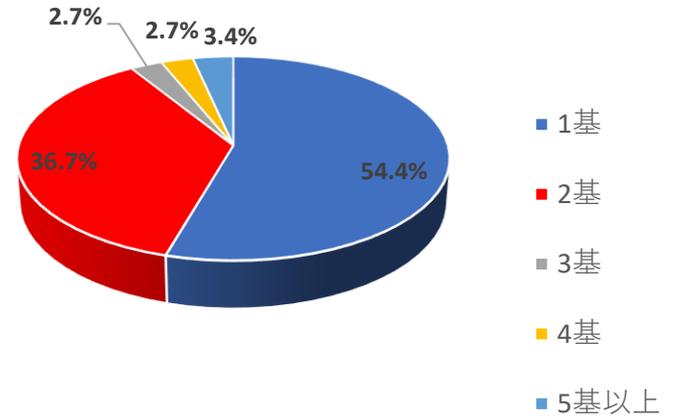
全国の旅館ホテルなどの宿泊施設にEV充電器を設置することは、今後のEVの普及のうえで大変重要な基礎インフラ整備

全国旅館ホテル生活衛生業組合連合会（略して全旅連）の役割

宿泊施設のEV充電器設置状況



宿泊施設の普通充電器の設置基数



全旅連は、全国の15,000の宿泊施設が加入する、国内で最大の宿泊施設の組織です。今後のEV充電器設置問題の解決のため、2023年3月に、全国の組合員を対象にアンケートを行ったところ、現在、EV充電器を設置している施設は僅か25%でありました。また、そのうち、1基が54.4%で半分をしめ、2基が36.7%で合計すると91.1%となり、しかもその大半が2012年の補助金を使用した3kWの普通充電器です。

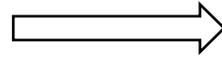
充電のインフラ整備が不足しており、安心してEVで旅行できない

旅館ホテルのEV充電器のニーズ

仮定：2030年、宿泊施設客室数の10%相当の充電器が必要

全旅連の傘下の組合員の施設の

部屋数総数 = 推定 **約710,000室**



必要な充電器 = 概算 **70,000基**

旅館ホテルでは、毎日異なるお客様が宿泊し、かつ、EV車で来館した方の数だけ、充電器が必要になる、という特殊な状況にあります。しかしながら、EVの今後の普及率を考慮すると、2030年時点で、各旅館の所有部屋数の10%程度の数の充電器が必要になるのではないかと予測しております。

経路充電で、150kWの急速充電器の普及が進めば、各旅館の負担は減少する可能性があります。それでも、充電器が確保されていて宿泊している間に満充電になる、という安心感を得るニーズは減ることはないと考えます。

全旅連の傘下の組合員の施設の部屋数総数は、約71万室と推定されます。その10%とすると**70,000基**の充電器を設置する必要があることとなります。

客室数帯	組合員数	割合	客室数
10室未満	2,775	18.5%	27,750
10室以上50室未満	6,855	45.7%	205,650
50室以上100室未満	2,415	16.1%	181,125
100室以上	2,955	19.7%	295,500
合計	15,000		710,025

2022.8月実施 ポストコロナ委員会経営状況調査より引用

旅館ホテルにはどのような充電器が必要か

①簡単に

自宅での基礎充電と同様、ソケットを差し込むだけで充電スタートが望ましい。
近年、アプリによる充電方式が売り込まれているが、結局、アプリが乱立し、お客様は、旅行のたびに、旅館の充電器の前で、新しいアプリに自分の決済情報を入れなければならない、しかも、ITリテラシーの無い人はうまくアプリの登録できない、という問題もあり、宿泊施設との親和性は薄い。EMPによる充電カード処理方法は、簡単だが、電気代、予約の点で問題がある。

②安く

現状で宿泊施設の支払う電気代は、1kWh、25～30円です。従って6kWの充電器で1時間充電すると150～180円となります。しかし、アプリや充電カード使用の場合の宿泊者の支払う電気代はかなり高額です。これは何れ問題になるでしょう。

③確実に

宿泊先での充電器の確保が不安をなくします。従って、部屋の予約と同時に充電器の予約が行われることとなります。この場合、宿側で充電器のコントロールができないと受け入れできません。

自宅での基礎充電と同様、各旅館で補助金を使用し、6kW以上の充電器を導入するのが望ましい。

オーディオとの充電器設置協業について_1

輸入車メーカーのフォルクスワーゲングループジャパン株式会社オーディオブランドと全旅連は、オーディオの推進する8kWの充電器の普及推進に共鳴し、今年100基、50施設、来年も同様の体制で全国の旅館ホテルの中で、オーディオ使用者に相応しい施設に設置していきます。

このシステムは、オーディオ側が設置費用を全て持ち、旅館側は、設置された充電器をコントロールでき、電気料金も自由に設定できるので、旅館ホテルにとって、最も理想的な形だと思われます。



2023年5月15日

オーディオ、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会と協力事業を発表

- 電気自動車の目的充電インフラ整備に双方協力することに関して合意
- Audi 純正のEV充電器 (8kW)、2023年末までに50か所100基を無償設置
- AudiのEVシフトへのコミットメントを示す

オーディオ ジャパン(東京都品川区、ブランドディレクター:マティアスシェーパース)と全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会(東京都千代田区平河町 会長:多田計介)は、この度、電気自動車の目的充電インフラ整備に関して双方協力して設置を推進する事に合意。2023年末までに50か所100基の設置を目指します。

今回オーディオ ジャパンが電気自動車の目的充電インフラ整備の協力事業に関して設置を推進するパートナーとなる全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会(以下、全旅連)は、全国の旅館ホテル生活衛生同業組合の中央連合体として、旅館・ホテル営業の衛生施設の改善向上、経営の健全化、振興等を通して、利用者の快適な宿泊体験を確保することにより、公衆衛生の向上・増進、ならびに国民生活の安定、観光立国の実現推進に寄与することを目的とする。都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合47組合、支部旅館ホテル組合約1,500組合、旅館・ホテル約15,000軒(組合員数)により構成される日本最大級の宿泊施設組合です。

日本政府は脱炭素社会の実現のために、「2035年までに乗用車新車販売で電動車(EV、PHV等)100%」にすることを目標としており、2030年までに公共用の急速充電器3万基を含む充電インフラ15万基を設置すると発表しています。その一方で、EV普及の初期に設置された普通充電器は3kW。また、高速道路のサービスエリア等に設置された急速充電器は40~50kWが一般的であり、旅館・ホテルでは、電気自動車をつかって長距離移動をする、宿泊客の利便性を高めるために、チェックインの際に充電を開始、翌朝には十分な充電状態で出発できるようにすることが、今後ますます重要になります。

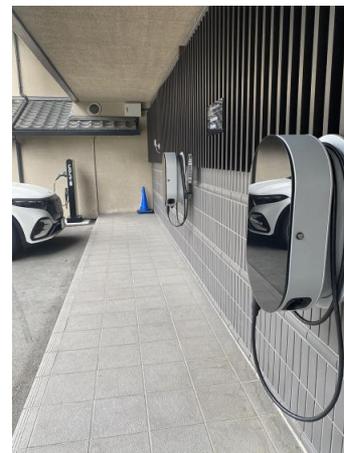
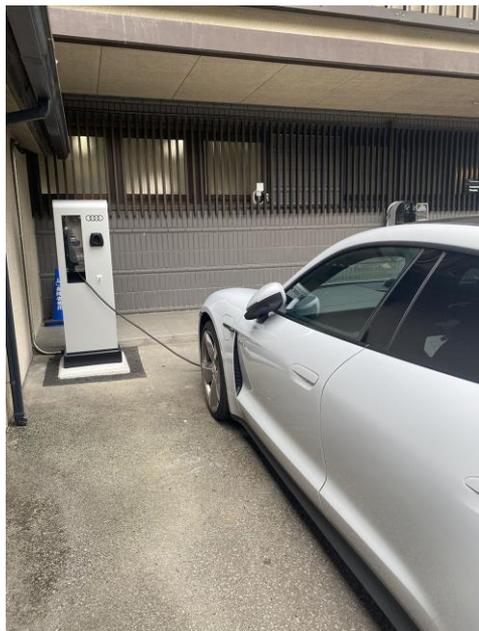
このようなことを背景に、オーディオ ジャパンと全旅連は、全旅連加入宿泊施設に対して、Audi純正のEV充電器(8kW)を無償で設置(1か所に充電器2基設置)することにより、目的充電における電気自動車の充電インフラ整備を促進し、脱炭素社会においても、バッテリー残量を気にすることなく、電気自動車で安心して旅行ができる環境づくりに取り組むことに同意しました。

オーディオは電動化戦略Vorsprung 2030に基づき、持続可能なプレミアムモビリティを提供する企業への変革を続けています。2033年以降は全モデルの販売を電気自動車とする計画を発表。現時点で、国内計8車種の電気自動車を販売しています。

2023年は全国のオーディオe-tron(店)に既に設置されている50基の50kW-90kW急速充電器を150kW急速充電器に置き換え、150kW急速充電器を全国合計で102基にすることで急速充電ネットワークを更に拡大します。また、オーディオ ジャパンがボルシェジャパン、フォルクスワーゲンジャパンと事業展開している日本最大級の急速充電ネットワークサービス「プレミアムチャージングライアンス」や、旅行先などにおける目的充電を可能にする「デスティネーションチャージ」によるネットワーク構築を導入するなど、日本でも独自にお客様が電気自動車を検討しやすい環境作りを行っています。今回、電気自動車の目的充電インフラ整備に関して双方による設置推進の合意は、さらなるお客様満足の向上に貢献するとともに、オーディオ ジャパンのEVシフトへのコミットメントを示しています。

アウディとの充電器設置協業について_2設置例

山梨県甲府市 信玄の湯 湯村温泉 常磐ホテル
ポルシェ2基 アウディ2基 設置しており、料金は一律1000円を徴収している。無論、予約可能。



経済産業省へのお願い

最終目標

- ・ 2030年に推定総部屋数の**10%**、**7万基**の設置をめざす。
- ・ コロナ後で、全国の宿泊施設が、財政的に逼迫しており、充電器を設置する予算の捻出が難しい。
可能なら全額補助金を設定していただきたい。

要望①第一段階 2024～2025年まで

全国の全ての宿泊施設に少なくとも**1基の6kW充電器**を設置する。
最低**15000基**導入の際の支援

要望②第2段階 2026～2030年まで

部屋数の多い施設に複数基の設置を行っていく際の支援。
2026～2030年まで

今後解決しなければならない課題について

・ 集合駐車場に急速充電器を設置

街路が狭く、クルマが通行が不可能だったり、駐車場が設置できない温泉街などでは、温泉組合などの集合駐車場に急速充電器や普通充電器を設置することを検討したい。

・ 災害時の電源確保について

全国の旅館ホテルは、各県と災害時の救難協定を結んでおります。その際、外部給電器を使用することにより、電力供給が可能となることが考えられます。

ご清聴ありがとうございました。